



Global Energy Monitor

G7による気候公約の確実な履行のために、日本は石炭火力発電所の新設を断念し、2030年に向けた速やかな石炭の段階的廃止を実施せよ

プレスリリース

報告書へのリンク ([PDF](#)、[日本語版](#))

石炭火力発電所パイプラインに関する第9回グローバルエナジーモニター年次調査によれば、日本は**2022**年に新たな石炭火力発電設備を計画していた**14**カ国の**1**つである。

日本は稼働中の石炭火力発電設備の**3**ギガワット（GW）増設を予定し、建設中の発電機**3**基も**2024**年に竣工の予定である。同報告書によれば、日本で開発進行中の石炭火力発電所事業計画の規模は一貫して縮小しており、日本と国内「新規石炭火力なし」の間に立ちふさがるのは、**2018**年以降に発表された新設石炭火力発電設備**1**基（**500 MW**の石炭ガス化設備）のみである。

日本のグリーン・トランスフォーメーション政策では、アンモニアと水素の使用または他のエネルギー源との混焼に活路を見いだそうとしているが、アンモニアと水素の供給源によっては潜在的に排出量が増大する可能性がある。日本の政策は石炭火力発電所の早期閉鎖の代わりにそれらの寿命を延ばすことに加え、日本と他の**ASEAN**加盟国を高額の技術に縛り付ける危険性がある。

報告書では、**2022**年に中国を除く先進国と途上国の両方で既設石炭火力発電所が閉鎖され、事業計画がキャンセルされ、世界の稼働中・計画中の石炭火力発電所の数が減少したことが明らかになった。

しかし、パリ気候協定の目標達成に必要な**2040**年を期日とする石炭火力発電廃止を軌道に乗せるには、閉鎖のペースを**4.5**倍の速度に引き上げる—そして、新規発電所の建設を止める—必要がある。

軌道に乗った状態を維持するには、すべての既設石炭火力発電所を世界の富裕国では**2030**年までに、その他の国・地域では**2040**年までに閉鎖する必要があり、新設石炭火力発電所をパイプラインに加える余地は全くない。新たに提案される石炭火力発電設備は著しく減少したが、世界の既設石炭火力発電所の閉鎖速度は十分とはいえない。

稼働中の石炭火力発電を 2040 年までに段階的に廃止するには、年平均 117 GW の閉鎖が必要であり、これは昨年閉鎖された設備容量の 4.5 倍に相当する。OECD 加盟国で 2030 年の石炭の段階的廃止期日に間に合わせるには年平均 60 GW の閉鎖、2040 年を期日とする OECD 以外の諸国では 91 GW の閉鎖が必要である。建設中および検討中の石炭火力発電所（537 GW）を考慮に入れると、さらに急速な削減が必要になる。

「既設と新設の石炭火力発電所からの移行は、気候のカオスを回避するために十分な速度で進んでいない」と語るのは、報告書の執筆者でグローバルエネルギーモニターのグローバル石炭火力発電所トラッカー・プロジェクトマネジャー、Flora Champenois（フローラ・シャンペノワ）である。「石炭火力発電所新設の終了、石炭からの本格的な移行の開始という両面で、先進国が世界の他の国・地域を助けるべきときに、それどころか日本を含む多くの国が、気候科学により必要とされる期日をはるかに超える時期まで自国内で石炭火力発電所を稼働させることを計画している。

シャンペノワはさらに「先進 7 カ国（G7）は世界で稼働中の石炭火力発電設備の 15%（323 GW）を占め、これは日本での 1 件の計画を除き、建設前石炭火力発電設備容量は含まない。2022 年、G7 は 2035 年までに削減対策なしの石炭を段階的に廃止し、電力部門の大部分を脱炭素化することを約束した。G7 による確実な全廃のために、日本は新設石炭火力発電所を断念し、2030 年に向けた石炭火力の段階的廃止を速やかに実行に移さなければならない」と述べた。

グローバルエネルギーモニター以外の報告書の共同執筆者はエネルギー・クリーンエア研究センター、E3G、リクレイム・ファイナンス、シエラクラブ、Solutions for Our Climate（私たちの気候のための解決策）、気候ネットワーク、気候行動ネットワーク欧州、バングラデシュ Poribesh Andolon（ポリベシュ・アンドロン）、Waterkeepers（ウォーターキーパーズ）バングラデシュ、Alliance for Climate Justice and Clean Energy（気候正義・クリーンエネルギー同盟）、Chile Sustentable（持続可能なチリ）。

Contacts

Flora Champenois, Global Energy Monitor, New York, United States, +1-650-862-7498,
flora.champenois@globalenergymonitor.org

About Global Energy Monitor

Global Energy Monitor (GEM) develops and shares information on energy projects in support of the worldwide movement for clean energy. By studying the evolving international energy landscape, and creating databases, reports, and interactive tools that enhance understanding, GEM seeks to build an open guide to the world's energy system. For more information, visit www.globalenergymonitor.org.